

映画をみて、氷川丸のこと、海のことをもっと知ろう！



海と日本プロジェクト

映画「氷川丸ものがたり」上映会 in 横浜

2016年 山縣勝見賞特別賞受賞

2016年 ダラス・アジア映画祭アニメーション最優秀作品賞受賞

2016年11月 ハワイ国際映画祭上映決定

奇跡の船「氷川丸」と少年の物語

原作／『氷川丸ものがたり』（伊藤玄二郎著、かまくら春秋社刊）

監督／大賀俊二 ナレーション／戸田恵子 エンディング・テーマ／小田和正

製作／氷川丸ものがたり製作委員会（かまくら春秋社・虫プロダクション）

推薦／神奈川県、日本 PTA 全国協議会、公益社団法人日本医師会、日本赤十字社

10月30日(日)
泉公会堂

相鉄線「いずみ中央」駅下車徒歩4分
横浜市泉区和泉町4636-2



●時間 ① 10:30 開演 (10:00 開場 終了予定 12:15) ② 14:00 開演 (13:30 開場 終了予定 15:45)

●入場料 中学生以下無料 高校生以上1名500円 (当日来場時にお支払いください)
障害者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添い1名は無料です。

●ミニトーク 伊藤玄二郎 (原作『氷川丸ものがたり』著者)

※鑑賞ご希望の方は、下記事務局宛に電話またはメールにてご連絡ください。

※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

※お問合せは事務局まで。会場への連絡はおやめください。

海と日本プロジェクト 映画「氷川丸ものがたり」上映会 in 横浜

事務局：100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会 伊藤事務所内

電話／0467-23-9188、0467-24-7223 e-mail／hikawamaru@kamashun.co.jp

主催 100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会

後援 横浜市教育委員会 横浜市商工会議所 横浜港振興協会 日本船主協会 神奈川新聞社 tvk(テレビ神奈川) FMヨコハマ

協賛 横浜港運協会 一般社団法人横浜港振興協会 一般社団法人横浜港湾福利厚生協会 大塚ホールディングス株式会社
株式会社ケイアール 株式会社社会保険研究所 オキシゲンアンドパートナーズ株式会社 宮嶋印刷株式会社 ほか

100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会は、日本財団「海と日本プロジェクト」の助成を受けて、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して、人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。



海と日本プロジェクト

映画「氷川丸ものがたり」上映会 in 横浜

「横浜、海そして氷川丸」

作文コンクール

横浜の海や港で体験したこと、
海や氷川丸との思い出、
映画「氷川丸ものがたり」を観た感想、
横浜の海がこんなになったらいいな、
などを作文にしてください。



皆さんからの応募をお待ちしています。

テーマ : 「横浜、海そして氷川丸」

応募資格 : 横浜市内の小学生・中学生

応募規定 : 400字詰原稿用紙2枚まで。1枚目の裏に氏名・学校名・学年・住所・電話番号を必ず書いてください。作品の返却はいたしません。

応募先 : 郵送にてお送りください。

〒248-0006 鎌倉市小町2-14-7 かまくら春秋社内 海と日本プロジェクト作文コンクール宛

賞 : 小学生の部・中学生の部、各部につき最優秀1作品、優秀賞3作品、入賞5作品、学校賞（応募者数の一番多かった小・中学校各1校）。賞状および記念品（図書券）を授与。

応募締切 : 2016年11月20日必着

発表 : 2016年12月20日 氷川丸ものがたり事務局ホームページ ほか

審査員 : 山崎洋子(作家)、太田治子(作家)、伊藤玄二郎(エッセイスト・「氷川丸ものがたり」原作者)
衛藤征士郎(海事振興連盟会長)、山本勝(海洋会会長)、金谷範夫(第28代氷川丸船長)

※応募いただいた個人情報については、厳重管理のもと保護者の許諾無しの使用はいたしません。

●お問合せは

海と日本のプロジェクト 映画「氷川丸ものがたり」上映会in横浜

事務局:100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会 伊藤事務所内

電話/0467-24-7223 e-mail/hikawamaru@kamashun.co.jp

主催 100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会

後援 横浜市教育委員会 横浜市商工会議所 横浜港振興協会 日本船主協会 神奈川新聞社 tvk(テレビ神奈川) FMヨコハマ

協賛 横浜港運協会 一般社団法人横浜港振興協会 一般社団法人横浜港湾福利厚生協会 大塚ホールディングス株式会社
株式会社ケイアール 株式会社社会保険研究所 オキシゲンアンドパートナーズ株式会社 宮嶋印刷株式会社 ほか

100万人の「氷川丸ものがたり」上映を支援する会は、日本財団「海と日本プロジェクト」の助成を受けて、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して、人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。